

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会

月例観察会の皆さま

あれよ、あれよと言う間に一年の観察が終了しました。問題もなく、皆さん怪我もなく、無事終了出来たことは、スタッフとしてホッとしています。

今年は、市民の森を散策する人のためにと資料の掲示、樹木の名札掛けに取り組みました。掲示はまだ「知る人は喜ぶ」程度ですが、まずまず軌道に乗りました。樹木の名札は62枚、「北コース」1枚掛けました。それ以上に、みんなで市民の森を楽しんだのが最大の成果と思います。

来年も続きます。来春募集いたします。また、お会いできるのを楽しみにしています。

森は明るくなりました。(牧)

- 落葉もすすみ、秋色の林が明るく十一月ならではの観察会を楽しむことができました。



- 木の実もそれぞれに个性的で美しく、種子の種保存の知恵に感服。アブラムシも見直しました。

楽しみいろいろ (K)

- マムシグサの赤い実は甘くておいしかったが、本当に毒？種だけが毒？もう一度食べてみたい。
- 観察最後に見た、イケマの実がはじけた様子。美しい一言。この種類の種の姿、本当に好きです。センニンソウ、ガガイモ、ボタンソル。



山の楽しみ(北)

ハンの木、山ハンの木、ヤシャブシと同じ仲間の葉のちがいが。

紅葉する葉
緑のままの葉
いろいろ秋ならではの山のたのしさ

いろいろ(矢)

- トリカブトのアブラムシのコロニー、まだ健在！やっぱり美しいぞ！！



- おすすめの木の実
No.1 ヤマガシユウ
No.2 ガマズミ
No.3 ナツハゼ
ごちそうさまでした。

森のできごと (KK)

- 駐車場付近の上空にトビ、カラスの群れが飛びかかっていました



- カラマツがキレイに紅葉していました。

11月の観察会のテーマ (だれかな?)

11月の観察会は「木の実を食べて観察しよう」の企画(テーマ)が良い。今回「木の実を食べて観察しよう」が良かった。(スタッフ意見)
何でも食べてみるは、知識を習得してからが良かろうと思いまーす！

山を歩いて思ったこと。(石)

今日は、落ち葉を拾いながら、できるだけ樹種を注意して見てまわりました
イタヤカエデは、自分で見つけられたが、オニグルミは、落ち葉は見つけられたが、その木は教えられないとわからなかった。
馬場氏に教示されたオオムラサキの越冬地は興味深かった。
拾った落ち葉は図鑑で調べたいと思います。

晩秋の楽しみ(W.K)

- 晩秋の市民の森も良いものです。ムラサキシキブの紫の実が趣があります。



- 落葉を袋一杯拾いました。家に帰ってからどの位覚えているでしょうか。

昆虫の卵 (吉)

- なんの卵のカラだろう。プチプチにそっくり！
透明な卵で光ってキラキラきれい！



→クサギカメムシの卵(吉)

吉田山コナラ林晩秋 (矢)



オオムラサキ君 元気! (悦)

「寒いのに、ときどき、布団を捲って観て行く奴が来るんだよ!」と言われそうです。観察会は終わりました。安心してお休みください。また来年ね。



コクワガタ君 ここで越冬?

これまた、子供たちの森の体験で見つけた木端をどけたら、やっぱりここで越冬するつもりらしい。ごめんなさい。また木端を被せておきます。



一年間の感想 (中)

エメラルド色のアブラムシが大人気でした。マユミに絡まる(ふじ?)蔓はアッサリ切られてしまいました。美しいものに惹かれる人の性は理解できるものの、エメラルド色のアブラムシに限って、取りついた植物に益するものでしょうか? ふじ蔓の二酸化炭素固定能力がマユミのそれと比較して...と考えてしまいました。



別途

性格や得意なことその他が異なる皆様と観察路を歩くことは、植物のみならず人物観察にもなって楽しい半年間でした。

スタッフからの植物・動物の不思議 OR 奇妙な生態の話は毎回興味深く且つ感動しました。

事前の下見や資料準備それに事後の情報整理等々にご苦勞を戴き、意義あるそして楽しい観察会にして下さった、スタッフに多大な感謝とお礼を申し上げます。

えー!! (悦)

市民の森を観察しているつもりだったが、実は我々が観察されていた? そういう観点もありでしたね。

マユミとフジ蔓どちらを取るかも、いろんな観点がありますね。そうなんです。我々も答えのない疑問を抱えながら、悩みながら取り組んでいるわけです。

いろんな考えを持った方と、いろんな観点から議論して、進路を見つけていきたいと思っています。来年もよろしく。

一年間の感想 (Fu)

月例観察会も2年目を迎え、さらに進化・深化した1年だと思う。植物博士は勿論のこと、蝶々博士、アブラムシ博士が加わり、参加メンバーの観察眼、知識が一層深く広がった。毎月の観察会の記録は、駐車場に設置され、市民の森を訪れる方々へのメッセージとして大好評(多分)。唯一進歩が見られなかったのは、私の知識。これは本人の不徳の致すところだから、仕方ないか。でも、楽しい1年でした。スタッフはじめ、参加メンバーの皆さまに感謝!

迷路 (矢)

これは誰の足跡?

緑豊かな時には目立たなかった、小さな生物たちの姿が 落ち葉の隙間に見え隠れ。私達は、この子たちの生活の環の中にある事を実感。



まとめの感想 (SU)

「ヤマモミジ」の名札を付けた「縁」で、この木がとても身近で愛おしく思えるようになりました。毎月の観察会のおかげで、「葉っぱの緑が濃く



なったね」「おひさまと仲良しだね」...などと、心の中でひそかに声をかけてきました。自分の木、自分の花、自分のせせらぎ、何かひとつでもそういう対象があるのは、心が豊かになる気がします。

ずっと見守り続けた「オオムラサキ」の幼虫は、蝶になって飛ぶ姿を見ることができてとても感動しました。今年の子どもたちも、来年、元気に飛び交う姿を見せてくれることを祈っています。

昨年よりもリンドウが増えていて、嬉しかったです。ここがリンドウ広場になるといいなあ。



あつたらいいな~! (悦)

西穂高岳に行ったとき、下のような鳥瞰図を見ました。

こんなの、←ビューポイントにほしいな~。

